

# 日曹ダコニールジェット

(DACONILJET)

登録番号 第21934号  
 種類名 TPNくん煙剤  
 chlorothalonil  
 殺菌剤分類 M5  
 性状 類白色発煙性中空円板状  
 外径70mm 内径20mm 高さ22mm 1個80g

有効成分 テトラクロロイソフタロニトリル(TPN) 46.0%  
 PRTR テトラクロロイソフタロニトリル(PRTR・1種) 46.0%  
 4,4'-オキシビスベンゼンスルホニルヒドラジド(PRTR・2種) 10.0%  
 毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 包装 (80g×5錠)×10パック×2箱

## ■特長

- 幅広い殺菌スペクトルを有し、耐性菌の事例のないTPNを有効成分とするくん煙剤です。
- きゅうりのべと病・うどんこ病、トマトの葉かび病、なすの黒枯病に優れた予防効果があり、収穫前日まで使用できます。

## ■適用病害名及び使用方法



(2020年11月25日現在)

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	TPNを含む農薬の使用回数	使用方法		
きゅうり	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	べと病 うどんこ病	くん煙室容積 400m <sup>3</sup> 〔床面積200m <sup>2</sup> 〕 ×高さ2m 当り80g	収穫前日まで	8回以内	10回以内 〔土壌灌注は2回以内、散布およびくん煙およびエアゾル剤の噴射は合計8回以内〕	くん煙 〔通常10～15時間〕		
トマト		葉かび病						4回以内	6回以内 〔土壌灌注は2回以内、散布およびくん煙およびエアゾル剤の噴射は合計4回以内〕
なす		黒枯病						4回以内	

## △ 効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 温室・ガラス室・ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満遍なく行きわたるようにしてください。
- くん煙する場合は、添付のつり具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具及び電気式点火・くん煙装置はつり下げるか、または不燃性の台などの上のせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニールなどの被覆材とは60cm以上離れた位置で使用してください。
- 点火は以下のとおりに行ってください。
  - 点火紙を用いる場合  
同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火してください。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置してください。
  - 電気式点火・くん煙装置を使用する場合  
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置してください。
  - 点火後は、くん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

5. 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
6. 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので使用しないでください。
7. 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗には使用しないでください。
8. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意  

9. 誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
10. 皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
11. 夏期高温時の使用をさけてください。
12. 点火などの作業の際は、農薬用マスク、手袋などを着用してください。また煙を吸い込んだり、薬剤に直接触れたりしないよう注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
13. かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触をさけるようにしてください。
14. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
15. くん煙中はハウス内に入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

**水産動植物への影響：**水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽などを置かないでください。空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管：**密封し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

- 
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
  - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
  - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
  - 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう、適切に処理してください。